【肉用牛・経産牛肥育】（島根県雲南市　株式会社熟豊ファーム）

○平成29年10月に経産牛肥育専門の会社として設立。肥育素牛は一般家畜市場から経産牛を導入し、約6か月間肥育し出荷。

○元は肉屋出身で、廃用牛の扱いを見てもったいないと思ったのがきっかけで、経産牛肥育を開始。肥育素牛となる経産牛の産歴にばらつきがあるが、出荷元の農家の飼養方法や投薬歴等を把握しておき、１頭１頭飼料の配合や給与量等を変えるなどの対応で肥育。

○経営開始当初は九州の市場へ出荷していたが、価格的な面で関西の市場にも出荷するようになり、その関係で食肉卸や輸出を手掛ける業者と縁ができ、令和２年３月から『サステナブル和牛』と称して海外への輸出を行うようになる。現在は20か国への輸出。輸出先はEUのほか、シンガポール、タイ、香港等で、令和5年度から米国にも輸出。当該ファームからの出荷牛はほぼ輸出されている状況。

○令和3年度に飼養規模拡大に伴い増大する家畜排せつ物を良質なたい肥に製造するため、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（施設整備事業）【通称、畜産クラスター事業】を活用し、堆肥舎を整備。

○今後は、自社農場において生産量を拡大するとともに、和牛本来の能力を引き出す環境や飼料づくりに注力し、海外輸出頭数をさらに増加する予定。

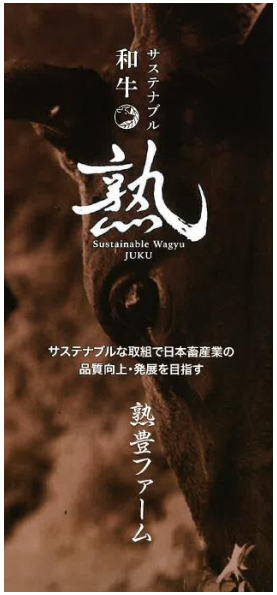
＜熟豊ファーム（本社農場）の概要＞

（R5.6時点）

【飼養規模】肥育牛　１８３頭
繁殖牛　８４頭
子牛　１３０頭
【労　働　力】　正社員１０名
パート　２名
【肥育牛出荷頭数】　３４７頭
（40頭/月出荷）
【肥育牛販売額】２億８千万円
【子牛出荷頭数】　15頭/月出荷

サステナブル和牛“熟”　輸出向け用出荷実績

	R2	R3	R4
輸出数量	58頭	190頭	319頭



九州地域
中国地域
→ 経産牛導入 →

熟豊ファーム

和牛経産牛肥育
（約6か月肥育）

↓

京都食肉市場含む食肉処理施設等

↓

（株）銀閣寺大西

↓

輸出
「サステナブル和牛“熟”」

↓

EU、シンガポール、タイ、香港
など20か国
令和5年度から米国へ輸出開始


鶏舎を改修した肥育牛舎


肥育牛舎内部


畜産クラスター事業により整備した堆肥舎